

# つながり日本一をめざして

～小中連携から地域につながる取組～

【光市 浅江中学校区】

## 地域の概要

浅江中学校区は、1中学校、1小学校、1公民館で、学校と地域との連携が比較的にとりやすい環境にあり、多くの行事等を通して密接に「つながる」ことができる地域です。「浅江やろう会」をはじめ、多くの団体が「地域リーダー」として精力的に活動され、無理なく、楽しみながら、生きがいを求めて、自主的、主体的な取組をしています。

人口	14,961人	
世帯数	6,505世帯	
対象校及び児童生徒数	浅江中学校	334人
	浅江小学校	722人

この地域の特性を活かし、今年度は、小中連携を柱とした取組が積極的に進められています。

## 組織の内容

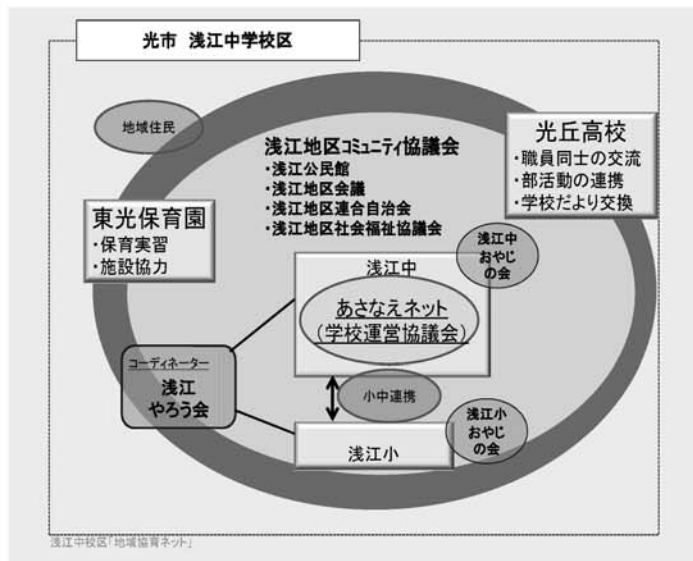
浅江地域では、「浅江地区コミュニティ協議会」が地域活性化の中核を担い、活力あるまちづくりが進められています。浅江中学校コミュニティ・スクール「あさなえネット」の委員は、このコミュニティ協議会の一員でもあり、あらゆる地域行事の企画運営に携わっています。

「あさなえネット」体制は多層構造となっており、学校運営協議会、企画推進委員会、プロジェクト部会の3つの組織から構成されています。「地域と保護者・学校が知恵を出し合い、未来を担う人材を育成する」という方針で活動しており、地域リーダーは、学校行事の運営に積極的に参加することによって、充実感や満足感を得ています。それらの調整役として、校内コーディネーター2名（浅江中教員2名）と校外コーディネーター1名（浅江やろう会）を配置しています。

浅江小学校では、平成26年度に学校運営協議会を設置する予定であり、現在、委員の選出や組織の構築などの準備が進められています。

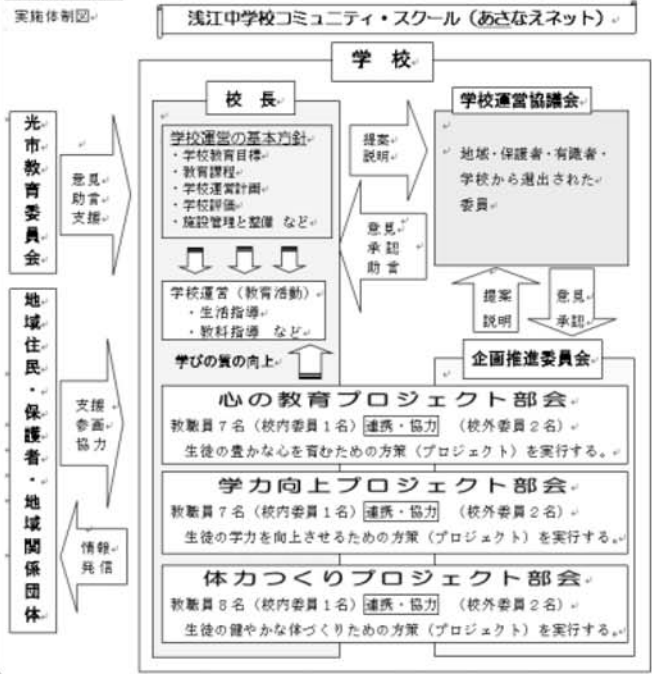
また、小・中にはそれぞれの「おやじの会」、地域には地域貢献や自分たちの生きがいを求めて活動する「浅江やろう会」があり、学校づくりやまちづくりの中心となって活躍しています。

このように、地域が一体となって「子どもたちをみんなで育てよう」という雰囲気があり、多くの住民がやりがいや生きがいを求めて学校に足を運び、夢や希望を語り、子どもたちの健全な成長に大きな役割を果たしています。



浅江中学校区「地域協働ネットワーク」

## 組織の内容



生徒考案キャラクター  
「つながりん」